

2018年12月

乳酸菌生成エキスが歯周病に及ぼす影響について

近年では口腔環境が全身の健康に深い関わりがある事が多くの研究からわかってきました。口腔環境の悪化は歯周病の原因となり、糖尿病、動脈硬化、肺炎、低体重児出産・早産などのリスクを高めることが指摘されています。

今回のオルトメディコ通信では、乳酸菌生成エキスが歯周病に及ぼす影響について検証した論文を紹介いたします。

引用：乳酸菌生成エキスが歯周病に及ぼす影響について

https://www.jstage.jst.go.jp/article/perio/60/3/60_139/_pdf/-char/ja

今回の試験は、軽度～中等度の歯周炎患者で基本治療を終了し、SPT¹に移行した成人男女 20 名を対象としています。それぞれに試験参加者は試験食品を 1 日 2 回、8 週間継続摂取し、歯周病への影響について検証しました。

試験の結果、Bleeding on probing (BOD)及び Gingival Index(GI)が摂取 4 週間後では有意に改善し、Probing depth (PD) は群間では摂取開始から摂取 8 週間後にかけて低値を示しました。また、総菌数では摂取 4 週間後から摂取 8 週間後にかけて減少傾向がみられました。

今回の試験は基本治療を完了した軽度～中等度の歯周病患者であったことから、8 週間の試験期間では不十分であったとの考察がなされているが、BOD、GIやPDが摂取前と比較して低下していることから、乳酸菌生成エキスの成分が直接口腔細菌に作用し、改善した可能性が示唆されました。

オルトメディコでは様々なヒト試験の実施が可能です。お気軽にご相談ください。

試験一覧：<http://www.orthomedico.jp/clinical-trials-price.html>

引き続き皆様に満足いただけるような情報を提供させていただきますので
今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

¹ 歯周病組織検査 3 または 4 の結果、病状安定と判定された場合に、病状の安定を維持するため歯科医療従事者によるブラークコントロール、スケーリング、ルートプレーニング、咬合調整などの治療を主体とした定期的な治療